

令和3年度事業計画

令和2年度は、事業年度開始直後の4月7日に国は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言を発出し、それは日本経済や人々の暮らしに大きな影を落とし、同時に当センターの事業も大きな影響を受けることとなりました。特に高齢者は、万一感染すると重症化しやすいことから外出を控える人が増え、入会説明会や各種講習会等への参加者も激減しました。

会員数におきましては、令和元年度まで中長期計画の年度目標を大きく上回っていたため、令和2年度は目標を一年前倒しして令和3年度の目標値である1198名を目標値としていました。ところが、令和3年1月8日に一部地域に国の二度目の緊急事態宣言が発出され、1月14日には熊本県も独自の緊急事態宣言を発令するに至り、当センターの令和2年度会員数目標のクリアはいよいよ難しい状況となっています。これらを踏まえ、令和3年度の会員数目標は令和2年度目標値の1198名に据え置きたいと思います。なお、この1198名という数値は、中長期計画における令和3年度本来の目標値であり、決して本来の目標を後退させるものではありません。

契約金額におきましても、令和2年度は前年実績の4億3800万円を2000万円強下回る予測となっており、令和3年度は先の見えないコロナ禍において令和2年度を上回ることにはむずかしいと考え、4億4500万円といたします。

目標達成のために、次のような組織改革並びに事業改革を行います。

第一に、会員増強推進員と就業開拓専門員の業務を統合し、会員の確保と就業機会の提供を一体化してマッチングの円滑化を進めてまいります。

第二に、複数の職員の定年退職を間近に見据えて、後継者の育成と新たな人材の確保に努めてまいります。

第三に、国の同一労働同一賃金の原則に沿って嘱託職員の処遇を改善し、より希望とやる気を持って働くことのできる職場環境づくりを進め、活気ある職場としての整備を目指してまいります。

第四に、急速に拡大しつつある派遣事業を受託事業から分離し、専任の職員を置くことでさらなる派遣事業の拡充と事務の合理化を図ってまいります。

第五に、コロナ禍における発注者への新たなアプローチのあり方を研究し、より信頼され安心して仕事をご依頼いただけるセンターを構築してまいります。

また、市広報への広告掲載、受付タッチパネルの活用、市庁舎待合室モニターによる動画視聴、ホームページの活用等によって市民に対するシルバー事業の普及啓発を強化してまいります。

事業別では、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を柱に人手不足分野において地域企業に貢献できるよう次のとおり各種事業を展開していきます。

プラチナネットワーク事業は現地駐在員を中心として、昨年の7月豪雨からの復興に役立てるよう、全力で会員と地域住民のサポートをしてまいります。

シニアパートナー制度、頑張るシニア応援企業宣言についてはこれまで同様継続して実施し、会員拡大を図ってまいります。

空き家・空地管理ワンストップサービス事業は、令和2年度から会員による自主運

営に移行しましたのでこれを継続し、契約先を拡大していきたいと思ひます。

平家味噌事業は泉地域会員の貴重な就業の場でもあり、今後後継者の育成と売り上げの向上を目指しながら事業の継続を図ってまいります。

子育て支援事業は、子育てしながら働く女性にとって、それを支援するしくみは不可欠であり、当センターは高齢者活躍人材育成事業の保育補助講座と保育園への就業開拓とマッチングを実施することにより新たなビジネスモデルを確立しており、これからも女性会員の拡大と併せて積極的に取り組んでまいります。

高齢者トータルアシストプランは、終活という言葉が定着した中で今日の社会に受け入れられつつあり、今後さらなる拡充を図ってまいります。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症に屈せず、恐れず、油断せず、最大限の注意を払いながら、新たな形のシルバー事業を構築していきたいと思ひます。

1.基本方針

- (1) 「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員主導によりシルバー人材センター事業の普及啓発活動を推進し、事業の適正化と拡充を図る。
- (2) 職員を構成員とした戦略会議を活用して定期的に未就業会員の状況把握を行い、適切なマッチング業務を進める。
- (3) 安全対策を強化し、事故の撲滅を図る。
- (4) インボイス制度導入に向けて、段階的な対応準備に着手する。
- (5) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を柱として、適正就業の推進を図りながら会員の就業の場の確保を図る。
- (6) 新規会員の入会促進と退会会員の抑制により、会員の増強を図る。

2.実施計画

(1) 広報活動

- イ、会報「シルバー八代」を発行する。
- ロ、市広報にセンターの広報記事を掲載する。
- ハ、シルバー人材センター普及啓発促進行事を実施する。
- ニ、ホームページ、市庁舎待合室モニター、受付タッチパネル、新聞折込チラシ、市広報広告等を利用してシルバー人材センター事業の普及啓発を図る。

(2) 事業

- イ、会員数1,198人、契約額4億4,500万円（請負・委任事業3億9,000万円、派遣事業5,500万円）、就業延人員100,000人日（派遣契約を含む。）、を目標として、会員に適した仕事の開拓を図る。
- ロ、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業を活用し、事業の拡大を図る。
- ハ、未就業者の定期的把握と職員間の情報の共有により、公平な仕事の配分を推進する。
- ニ、プラチナネットワーク事業による地域貢献と会員拡大を図る。

- ホ、事業拡大と経費節減に取り組み、安定的な自主財源の確保を図る。
- ヘ、会員の増強を図るための各種取り組みを実施する。
- ト、受付タッチパネルを活用し、会員や一般の高齢者に就業情報、イベント情報等を提供する。

(3) 研修・厚生

- イ、職員の研修を実施する。
- ロ、新入会員等の研修を実施する。
- ハ、会員の就業機会の拡大を図るために必要な技能講習を実施する。
- ニ、派遣事業に就業する会員の健康診断を実施する。
- ホ、会員の資質向上を図り、より良いサービスの提供と就業拡大のために、マナー全般に関する講習会を実施する。

(4) 安全対策

- イ、事故ゼロを目標に会員の安全就業を図る。
- ロ、会員から事故報告書の提出を受け、会員個々の安全意識の高揚を図る。
- ハ、安全就業推進員をおき、安全指導の徹底を図る。
- ニ、安全就業を徹底するため次の計画を実施する。

計画内容	実施計画
安全指導パトロール	6回
安全大会	1回
交通安全講習会	1回

- ホ、車両運転業務における安全管理を強化する。
- ヘ、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぎ、会員の安全を確保するため、感染防止策を研究、実施する。

(5) 職業紹介事業

- イ、有料職業紹介事業を行う。
- ロ、仕事ネットに参加する。